

平成28年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・セジロウンカ、トビイロウンカ（No.1）

平成28年7月8日
鳥取県病害虫防除所

1 セジロウンカ

（1）発生状況

ア 予察灯への初飛来は6月19日（平年：6月19日）で、平年並である。

イ 6月19～22日、6月24～25日および6月29日～7月5日に飛来が確認され、予察灯の誘殺状況から、主な飛来は7月3～4日と推察される。

ウ 7月第1半旬現在、予察灯への総誘殺数は中西部で多く、東部で平年並である。

エ 現地ほ場での発生の主体は、若～中齢幼虫であると推察される。

（2）防除上注意すべき事項

ア 現在、本種の防除が必要である地域はないものと考えられるが、8月上旬までに要防除水準（成・幼虫数10頭/株）を超えたほ場では、病害虫防除指針等を参考にして防除を行う。特に、中生品種栽培ほ場等、8月上旬までに穂ばらみ期防除を実施しないほ場では、本種の発生状況に十分注意する。

イ 8月上旬頃までに穂ばらみ期防除を実施するほ場では、殺虫・殺菌混合粉剤等を用いて、本種、いもち病、紋枯病等を同時防除する。

2 トビイロウンカ

（1）発生状況

ア 7月第1半旬現在、予察灯への飛来は認められていない。

（2）防除上注意すべき事項

現在、本種の防除が必要である地域はないものと考えられる。しかし、セジロウンカの飛来にトビイロウンカが混在していた可能性もあるので、今後の発生状況等に注意する。特に、常発地および9月末以降に収穫予定のほ場（中生品種等）では注意が必要である。